

伝えたいことの中心は何か？

A. 今日、5年生が校庭の掃除そうじをした この文は、事実をありのままに述べた文です。

B. 校庭の掃除は、今日5年生がした C. 5年生は、今日校庭の掃除をした

B、Cの文では、文頭にあることを「～は」と取り上げて、文の主題は何かを示しています。

つまり、Bの文では「校庭の掃除」が文の主題で、それは4年生でも、6年生でもなく「5年生である」ことを述べています。同じように、Cの文章では「5年生(が掃除をした場所)」が文の主題で、それは図書室でも、体育館でもなく「校庭」であることを述べている文です。

きれいになった掃除後の校庭を見て感心している校長先生に伝える文としてならば「B」がふさわしいですね。

夏の目標は、文章を正確に読み取ること。書き手の気持ちを正しくとらえる『技術』を身につける。

文章をていねいに読む習慣づくりをしていきましょう。授業であつかう文を音読しておくことを事前の課題とします。その時に分からない言葉などがあればぜひ調べておいてください。

社会 古墳時代から室町時代までの学習を行います。お渡しした教材を家庭でも何度も読み返してきてください。次の授業の最初に10問のチェックテストを行います。

◆ 完全特訓_カリキュラム		中学準備社会
①	物語文① —— 場面と人物	
②	説明文① —— 指示語、接続語	p.1,2 古墳・飛鳥時代
③	物語文② —— 心情、情景	p.3,4 奈良時代
④	説明文② —— 段落の関係	p.5,6 平安時代
⑤	物語文③ —— 心情の変化	p.7,8 鎌倉時代
⑥	随筆文 —— 筆者の思い	p.9,10 室町時代

【持ち物】蛍光マーカー(2色程度)・ノート

根本を正しく理解すれば、難しい問題にも、楽しく考えていける。

算数は「ああでもない、こうでもない」って考えて、試してみる科目です。正解までたどりつかなくても、「考えた分だけかしこくなる」科目です。授業でも、家庭でも『楽しく考える』ことを大切にしましょう。

理科は、満点がとれるまで覚えてくる必要はありますが、算数は、事前に勉強してくることはありません。授業の最初に、アタマをほぐすための【論理パズル】を解きます。しっかり考え、自分の答えを作ってみましょう。授業で学習したことで、分からないことは必ず解決をしてから帰りましょう。宿題は、授業で行ったことを、定着させるために必要なものです。正解例を見て写しては、あなたの伸びるチャンスを失うばかりです。

「ああでもない、こうでもない」って考え、夏に大きく伸びていきましょう。

◆ 完全特訓_カリキュラム		論理思考 中学準備理科
①	5年生の復習（割合）	論理パズル①
②	対称な図形	中学準備理科①
③	文字と式	中学準備理科②
④	分数のかけ算・わり算	論理パズル②
⑤	分数のかけ算・わり算の文章題	中学準備理科③
⑥	資料の調べ方	論理パズル③

【持ち物】算数用のノートを1冊、定規